

1 貧困を  
なくそう



## 服を届けよう

城北高校 203HR  
井関菜月、七條陽紀、鈴木祥太、  
高木聡太、中山真理、渡辺憲次

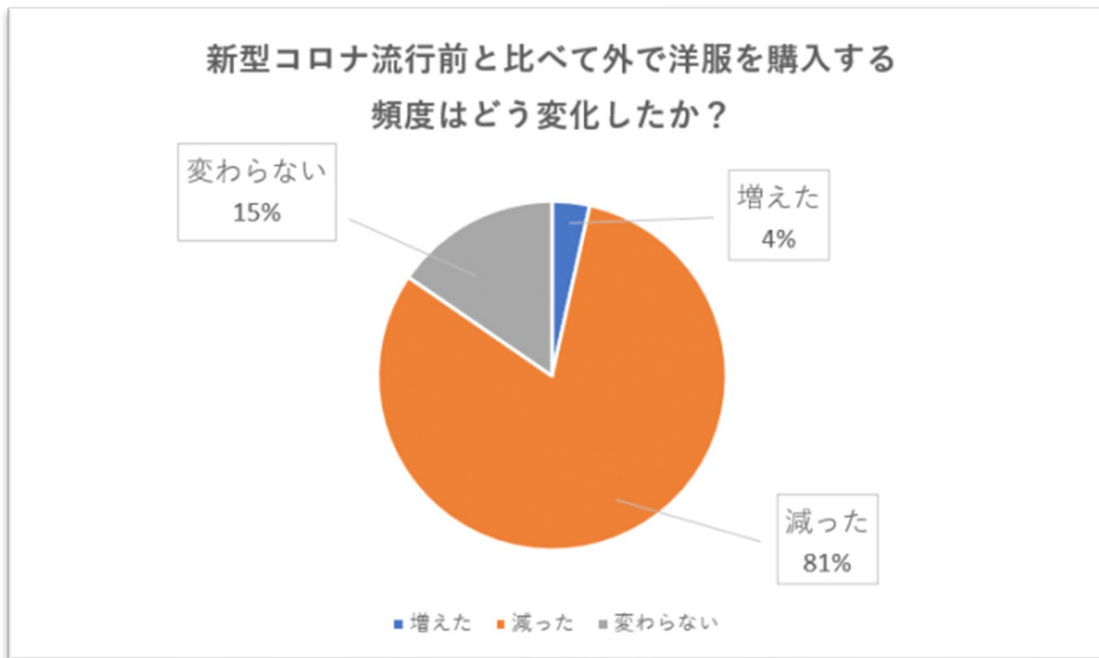
期間：9月6日～11月27日

私たちは新型コロナウイルスの影響などで、経済的に困っている人たちがいることを知りました。その人たちのために私たちが身近できることは何かと考えたときに、自分たちの着なくなった服を集めて、必要としている人たちに届けようと考えました。

# 新型コロナウイルスの影響について

このグラフは2020年4月以降に服を購入した男女200名を対象にしたアンケートです。

グラフより圧倒的に減ったと答えた人が多いことがわかります。その原因として考えたことが5つあります。



- 1、外出の機会が減ったから。
- 2、リアル店舗に行きにくくなったから。
- 3、経済的な不安があるから。
- 4、イベントなどが減ったから。
- 5、コロナ終息が見られないので、無駄遣い遣いを控え、お金の使い方に敏感になったから。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000013.000039015.htm>

# クレエール子ども食堂さんとの活動

私たちは着られなくなった服を捨ててしまうのではなく、必要としている人に提供しようと考え、クレエール子ども食堂さんと活動させていただきました。

## (活動内容)

- ・城北生にインスタグラムとポスターで服の募集の呼びかけ
- ・9月6日から2週間ほど、職員室前に回収ボックスを設置
- ・集めた服をサイズ、性別ごとに分ける
- ・11月27日にクレエールさんで服を提供

**服を提供している様子です→**

余った服はキリスト教会のクリスマスプレゼントにとクレエールさんが持って行ってくれました。



**結果**としてたくさんの方が服を持って帰ってくれました。  
子供ずれのお母さんが大半でしたが、子供たちが自分で服を見ている姿も見ることができました。

この活動を通して、私たちが着ることができなくなって捨ててしまうたくさんの方が人を助けることに繋がるとわかりました。

これからは、着ることができないなどの処分してしまう服があれば捨てるのではなく、**必要としている人に寄付していきたい**と思いました。

